

## 平成 30 年度第 2 回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成 30 年 11 月 22 日（木） 午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- 2 開催場所 浦安市千鳥学校給食センター 2 階 会議室
- 3 出席者 （委員）  
鈴木会長、木次副会長、板井委員、野村委員、相原委員、下村委員、  
田原委員、栗原委員、多田委員、百瀬委員、大前委員  
（事務局）  
岡部部長、本田次長、長島副参事、亀山主幹  
学校給食センター 前田所長、岡本主査、新井主査、鈴木副主査、  
宇都木栄養士、林田栄養士、大塚栄養士、高木栄養士

### 4 議題

- (1) 平成 30 年度学校給食食材の放射性物質検査（4 月～10 月）について
- (2) 平成 30 年度学校給食における異物混入（4 月～10 月）の発生状況について
- (3) その他

### 5 議事の概要

各委員は、見学通路から第一調理場の作業風景を見学した後、給食センターでの取り組みや施設を解説したDVDを視聴した。その後、事務局より資料をもとに食材の放射性物質検査結果並びに給食における異物の混入状況等を説明し、質疑を交えながら現状分析や課題等について委員間で意見交換を行った。

その他として、次回の会議は、平成 31 年 2 月に開催することに決定した。

### 6 会議経過

#### ・第三調理場施設紹介用DVD鑑賞

- (1) 平成 30 年度学校給食用食材の放射性物質検査（4 月～10 月）の結果について

-委員-

職員が食材を持ち込んで検査機関（葛南教育事務所）で測定しているということだが、1 回に要する費用はどのくらいかかるのか。

-事務局-

食材の放射性物質検査は月 2 回実施しており、1 回の検査に係る費用は無料です。ただし、検査する食材 6 品目の購入費が 5 千円程度かかることと、検査機関までの旅費の支出が発生します。

-委員-

安心安全のための事業ということで理解した。あまり高額な金額がかかってないことを理解した。

(2) 平成 30 年度学校給食における異物混入（4 月～10 月）の発生状況について

-委員-

異物混入の過去の状況についてはどうなのか。

-事務局-

異物混入の過去の件数は、H26 年度が 26 件、H27 年度が 21 件、H28 年度が 14 件、H29 年度が 20 件、H30 年度が 4 月から 10 月までで 17 件となっています。

-委員-

毛髪の混入については。

-事務局-

現在のところ、毛髪混入の報告はあがっていない状況です。

-委員-

カレーへの異物混入事故を受けて、その後の対応について教えてほしい。

-委員-

ご飯とサラダでの対応となったが、迅速な対応だったので大きな事故とはならなかった。後日食べられなかった食材については、代替え食が提供された。

-事務局-

その後、機械も新たに入れ替え、機械の状況も毎日報告をするよう義務付けている。今後も、調理場との連携を更に密にし、事故防止に全力を尽くしたい。

-委員-

異物混入について、学校からメールが届いて迅速な対応で安心した。

-委員-

食数の割合からみたら、異物混入の件数は比較的少ないような感じがしていて、混入防止が図られているように思えた。

(3) その他

-事務局-

・学校給食実施基準の改正について、今年度に改正された学校給食実施基準の改正内容について説明。

一日の子ども達が摂取している食材や栄養素を文科省で調査し、各家庭で摂取していない食材や栄養素などを学校給食で提供しバランスを図っている。そのため、どうしても豆類、海藻類など、あまり家庭で食べたことの少ない食材が多くなっている。また、生活習慣病予防のために塩分も 2.5 g から 2 g に減塩になっている。

-事務局-

給食の食べ残しは給食センターの大きな課題としている。現在まで食べ残しを減らすため、学校との連携を図ってきた結果、平成 27 年度に 24% あった残渣が、29 年度 14% まで減少してきた。これからも食べ残しを減らすために努力していきたい。

-委員-

家に帰ってきた子どもが、「お腹すいた」と言ってオヤツを食べている。「給食食べたんでしょ」と聞くと、「時間がなくて食べられなかった」と言っていた。低学年は、給食時間が食べる量と大きく関係していると思う。

また、先生もお代りした児童にはシールを張ってくれるなど、工夫をして食べ残しを減らす努力をしている。

-委員-

食に関しては、よく食べる子どもと、全く食べられない子どもがいるので難しい問題だと思う。食べられない子どもに食べてもらうために、どこまでどんな言い方ができるかは大きな課題だと思う。

特に低学年は、食べたことのないものが出てきた時は、抵抗を感じるだろうし、給食センターとしては、食べたことのないものも栄養素の関係で、出さなくてはならない現実も理解できた。

-委員-

中学校では、生徒たちの給食委員会が設置されていて、そこで食べ残ししないように呼び掛けたりしている。また、給食センターから栄養士や調理員が来校し、給食についてのお話等をする事によって、食べ残しが少なくなっている。安全で安心な給食を作っていただいているので、残さず食べるように指導していきたい。

問い合わせ先 教育総務部千鳥学校給食センター 担当：岡本  
電話 047-382-2762